

(様式3)

平成27年11月13日

内閣総理大臣 殿

福島県本宮市長 高松 義行

定住緊急支援事業計画の変更について

平成25年5月27日、9月11日、11月14日、平成26年2月7日、4月25日、8月20日、平成27年1月14日及び5月20日付けで提出した本宮市定住緊急支援事業計画について、福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援）実施要綱第4の5の規定に基づき、別添のとおり変更するので提出します。

(別 紙)

計画の目標																																																																			
<p>本宮市では、「共に支えあうやさしいまちづくり」を基本目標に掲げた第1次総合計画に基づき、子ども、高齢者、障がい者等、市民誰もが生涯にわたって心身ともに健康で、豊かな生活を送れる環境づくりに取り組んできた。</p> <p>しかし、東日本大震災及び福島原子力発電所事故により、市民の活動が物理的・精神的に制限され、特に、子どもたちの屋外での遊びにおいては、放射能に対する不安が完全に解消されておらず、放射能による健康への影響の不安から、屋外での遊びは敬遠される状況が続いている。</p> <p>震災等からの復興と「共に支えあうやさしいまちづくり」の一層の推進を図るべく、除染の実施と併せて、子育て世帯が安心して外遊び及びスポーツをする機会の増加を図り、子どもたちの体力を向上させることを目標とする。</p>																																																																			
計画の区域																																																																			
<p>(1) 事業実施箇所【別添位置図参照】</p> <p>【第1回事業計画の事業実施箇所】</p> <table><tr><td>1</td><td>スマイルキッズパーク</td><td>本宮市糠沢字石神50番地</td></tr><tr><td>2</td><td>しらさわグリーンパーク「記念樹の杜」</td><td>本宮市糠沢字石神地内</td></tr></table> <p>【第2回事業計画の事業実施箇所】</p> <table><tr><td>1</td><td>荒井地区公民館</td><td>本宮市荒井字茶園5番地</td></tr><tr><td>2</td><td>仁井田地区公民館</td><td>本宮市仁井田字寺下15番地</td></tr><tr><td>3</td><td>岩根地区公民館</td><td>本宮市岩根字上土淵6番地</td></tr><tr><td>4</td><td>白沢公民館和田分館</td><td>本宮市和田字久保171番地</td></tr><tr><td>5</td><td>白沢公民館糠沢分館</td><td>本宮市糠沢字原241番地</td></tr><tr><td>6</td><td>白沢公民館長屋分館</td><td>本宮市長屋字小山34番地</td></tr><tr><td>7</td><td>白沢公民館稲沢分館</td><td>本宮市稲沢字見切田53番地</td></tr><tr><td>8</td><td>白沢公民館松沢分館</td><td>本宮市松沢字池平36番地</td></tr><tr><td>9</td><td>地域開放児童用プール</td><td>本宮市本宮字舞台地内</td></tr></table> <p>【第3回事業計画の事業実施箇所】</p> <table><tr><td>1</td><td>みずいろ公園</td><td>本宮市本宮字馬場地内</td></tr></table> <p>【第4回事業計画の事業実施箇所】</p> <table><tr><td>1</td><td>岩根幼稚園・岩根小学校(併設)</td><td>本宮市岩根字下年神地内</td></tr><tr><td>2</td><td>五百川小学校</td><td>本宮市荒井字西畑地内</td></tr><tr><td>3</td><td>フォーシーズンしらさわ秋公園</td><td>本宮市糠沢字光が丘地内</td></tr></table> <p>【第5回事業計画の事業実施箇所】</p> <table><tr><td>1</td><td>和田幼稚園</td><td>本宮市和田字学校前地内</td></tr><tr><td>2</td><td>和田小学校</td><td>本宮市和田字学校前地内</td></tr><tr><td>3</td><td>糠沢幼稚園・糠沢小学校(併設)</td><td>本宮市糠沢字原地内</td></tr><tr><td>4</td><td>白岩幼稚園</td><td>本宮市白岩字馬場地内</td></tr><tr><td>5</td><td>白岩小学校</td><td>本宮市白岩字馬場地内</td></tr></table> <p>【第6回事業計画の事業実施箇所】</p> <table><tr><td>1</td><td>本宮小学校</td><td>本宮市本宮字館ノ越地内</td></tr><tr><td>2</td><td>本宮まゆみ小学校</td><td>本宮市本宮字舞台地内</td></tr></table>		1	スマイルキッズパーク	本宮市糠沢字石神50番地	2	しらさわグリーンパーク「記念樹の杜」	本宮市糠沢字石神地内	1	荒井地区公民館	本宮市荒井字茶園5番地	2	仁井田地区公民館	本宮市仁井田字寺下15番地	3	岩根地区公民館	本宮市岩根字上土淵6番地	4	白沢公民館和田分館	本宮市和田字久保171番地	5	白沢公民館糠沢分館	本宮市糠沢字原241番地	6	白沢公民館長屋分館	本宮市長屋字小山34番地	7	白沢公民館稲沢分館	本宮市稲沢字見切田53番地	8	白沢公民館松沢分館	本宮市松沢字池平36番地	9	地域開放児童用プール	本宮市本宮字舞台地内	1	みずいろ公園	本宮市本宮字馬場地内	1	岩根幼稚園・岩根小学校(併設)	本宮市岩根字下年神地内	2	五百川小学校	本宮市荒井字西畑地内	3	フォーシーズンしらさわ秋公園	本宮市糠沢字光が丘地内	1	和田幼稚園	本宮市和田字学校前地内	2	和田小学校	本宮市和田字学校前地内	3	糠沢幼稚園・糠沢小学校(併設)	本宮市糠沢字原地内	4	白岩幼稚園	本宮市白岩字馬場地内	5	白岩小学校	本宮市白岩字馬場地内	1	本宮小学校	本宮市本宮字館ノ越地内	2	本宮まゆみ小学校	本宮市本宮字舞台地内
1	スマイルキッズパーク	本宮市糠沢字石神50番地																																																																	
2	しらさわグリーンパーク「記念樹の杜」	本宮市糠沢字石神地内																																																																	
1	荒井地区公民館	本宮市荒井字茶園5番地																																																																	
2	仁井田地区公民館	本宮市仁井田字寺下15番地																																																																	
3	岩根地区公民館	本宮市岩根字上土淵6番地																																																																	
4	白沢公民館和田分館	本宮市和田字久保171番地																																																																	
5	白沢公民館糠沢分館	本宮市糠沢字原241番地																																																																	
6	白沢公民館長屋分館	本宮市長屋字小山34番地																																																																	
7	白沢公民館稲沢分館	本宮市稲沢字見切田53番地																																																																	
8	白沢公民館松沢分館	本宮市松沢字池平36番地																																																																	
9	地域開放児童用プール	本宮市本宮字舞台地内																																																																	
1	みずいろ公園	本宮市本宮字馬場地内																																																																	
1	岩根幼稚園・岩根小学校(併設)	本宮市岩根字下年神地内																																																																	
2	五百川小学校	本宮市荒井字西畑地内																																																																	
3	フォーシーズンしらさわ秋公園	本宮市糠沢字光が丘地内																																																																	
1	和田幼稚園	本宮市和田字学校前地内																																																																	
2	和田小学校	本宮市和田字学校前地内																																																																	
3	糠沢幼稚園・糠沢小学校(併設)	本宮市糠沢字原地内																																																																	
4	白岩幼稚園	本宮市白岩字馬場地内																																																																	
5	白岩小学校	本宮市白岩字馬場地内																																																																	
1	本宮小学校	本宮市本宮字館ノ越地内																																																																	
2	本宮まゆみ小学校	本宮市本宮字舞台地内																																																																	

3	本宮市屋内運動施設（設計）	本宮市関下字東原地内
【第7回事業計画の事業実施箇所】		
1	地域開放児童用プール （本宮市子ども屋外プール） ※効果促進事業（水泳教室等）	本宮市本宮字舞台地内 （本宮まゆみ小学校敷地内）
【第8回事業計画の事業実施箇所】		
1	本宮市屋内運動施設（建築）	本宮市関下字東原地内
【第10回事業計画の事業実施箇所】		
1	兼谷公園	本宮市本宮字兼谷地内
2	^{みょうどいし} 明戸石公園	本宮市高木字井戸上地内
3	みずきが丘第2公園	本宮市岩根字みずきが丘地内
（2）事業の効果が見込まれる区域：本宮市全域		
計画への位置づけ		
<p>「本宮市第1次総合計画」において、「豊かな人間性」「確かな学力」「健康と体力」の要素からなる子どもの生きる力を育む教育の推進を掲げており、本宮市教育振興基本計画では、子どもの安全・安心を確保し、地域におけるより良い教育環境の整備を進めることとしている。原子力発電所事故によって、放射線に対する不安がある中で運動を強いられている子どもたちに、本来の運動の場を提供する今回の計画は整合している。また、障がい児・障がい者についても地域社会参加の支援や生活支援体制の充実を図ることとしている。</p> <p>さらに、「本宮市震災・原子力災害復興計画（第3版）」において、「多様な世代が安全・安心を実感する暮らしの再生」を目標に掲げ、その施策のひとつである「健康対策」の取組みとして、子どもの運動機会の確保を図ることとしている。</p> <p>「本宮市震災・原子力災害復興計画（第3版）」P7～P9 ※一部抜粋</p> <p><u>施策1-2 健康対策</u></p> <p>【現状と課題】</p> <p>○東日本大震災による原発事故の長期化に伴い、放射線の健康への影響について市民の関心と不安が高まっており、その対応が必要となっています。特に妊婦や子どもを持つ親の不安解消を図る必要があります。</p> <p>○住環境、教育環境の変化や家族・友人関係の変化、さらには家族がばらばらに避難生活を強いられているケースもあり、子どものみならず大人も多くのストレスを受けているため、きめ細やかな心のケアが必要となっています。</p> <p>□具体的な取り組み</p> <p>（3）市民の心身ケア（ストレス対策）の推進</p> <p>・屋外遊びを控えている子どもたちの心身ケア対策として、子どもの運動機会を確保するため、屋内遊び場や除染を徹底した屋外遊び場の整備・改修、さらに他市町村との交流行事を進めるなど、子育て世帯が安心して活動できる環境の充実を図ります。</p>		

(様式1-2)

本宮市 定住緊急支援事業計画に基づく事業等

平成27年11月時点

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費(注3)			小計	全体事業費 (注4)	主体事業 期間 (注5)	備考 その他(注6)	
						平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1	B - 1 - 1	スマイルキッズパーク(屋内運動施設)増築事業	本宮市糠沢字石神地区 スマイルキッズパーク	市	本宮市	(39,620)			(39,620)	0	39,620	25 ~ 25	
2	C - 1 - 1	スマイルキッズパーク「記念樹の杜」 屋外運動施設整備事業	本宮市糠沢字石神地区 しらさわグリーンパーク 「記念樹の杜」	市	本宮市	(316,362)			(316,362)	0	316,362	25 ~ 26	
3	◆ C - 1 - 1 - 1	スマイルキッズパーク「記念樹の杜」 屋外運動施設プレイリーダー育成事業	本宮市糠沢字石神地区 しらさわグリーンパーク 「記念樹の杜」	市	本宮市	(5,614)			(5,614)	0	5,614	25 ~ 26	
4	A - 1 - 1	地区公民館・分館遊具更新事業	市全域 地区公民館・分館 (荒井地区公民館外7カ所)	市	本宮市	(38,664)			(38,664)	0	38,664	25 ~ 25	
5	B - 1 - 2	本宮市子ども屋外プール整備事業	本宮まゆみ小学区 (本宮市子ども屋外プール)	市	本宮市	(335,815)			(335,815)	0	335,815	25 ~ 26	
6	A - 1 - 2	みずいろ公園遊具更新事業	本宮市本宮字馬場地区 みずいろ公園	市	本宮市	(121,032)			(121,032)	0	121,032	25 ~ 26	
7	A - 1 - 3	文教施設等遊具更新事業	本宮市荒井字西畑地区 外 五百川小学校 外	市	本宮市		(40,053)		(40,053)	0	40,053	25 ~ 26	
8	A - 1 - 4	フォーシーズンしらさわ秋公園遊具更新事業	本宮市糠沢字光が丘地区 フォーシーズンしらさわ秋公園	市	本宮市		(14,364)		(14,364)	0	14,364	26 ~ 26	
9	A - 1 - 5	文教施設等遊具更新事業	本宮市和田字学校前地区 外 和田幼稚園 外	市	本宮市		(57,856)		(57,856)	0	57,856	26 ~ 26	
10	A - 1 - 6	文教施設等遊具更新事業	本宮市本宮字館ノ越 外 本宮小学校 外	市	本宮市		(24,762)		(24,762)	0	24,762	26 ~ 26	
11	B - 1 - 3	本宮市屋内運動施設整備事業	本宮市関下字東原地区 (本宮市屋内運動施設)	市	本宮市	(35,011)		(513,294)	(548,305)	0	548,305	26 ~ 27	
12	◆ B - 1 - 3 - 1	本宮市屋内運動施設整備事業 (外構工事)	本宮市関下字東原地区 (本宮市屋内運動施設)	市	本宮市	(3,880)		(93,476)	(97,356)	0	97,356	26 ~ 27	
13	◆ B - 1 - 2 - 1	本宮市子ども屋外プール効果促進事業	本宮まゆみ小学区 (本宮市子ども屋外プール)	市	本宮市			(800)	(800)	0	800	27 ~ 27	
14	A - 1 - 7	都市公園遊具更新事業	本宮市本宮字兼谷地内 外 兼谷公園 外	市	本宮市			(0)	(0)	0	42,387	27 ~ 27	
						合計	(857,107)	(175,926)	(607,570)	(1,640,603)			
						(うち基幹事業)	(851,493)	(172,046)	(513,294)	(1,536,833)			
						(うち効果促進事業)	(5,614)	(3,880)	(94,276)	(103,770)			

県名	福島県	担当部局名	政策推進課	担当者氏名	新保 雅樹
市町村名	本宮市	電話番号	0243-24-5321(直通)	メールアドレス	saisaku@city.motomiya.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「各年度の交付対象事業費」は、上段()書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。総交付対象事業費については、各年度の交付決定額及び今回申請額の和を記載する。

(注4)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。(ただし用地費など交付対象外費用は含めない)

(注5)「全体事業期間」は、平成26年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成26年度以降も含めて記載する。

(注6)事業間流用を行った場合には、「備考」の「その他」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

(注7)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(様式 1-3)

本宮市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成27年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	14	事業名	都市公園遊具更新事業		事業番号	A-1-7
交付団体	本宮市		事業実施主体		本宮市	
総交付対象事業費	42,387(千円)		全体事業費		42,387(千円)	
事業概要						
○事業の概要						
<p>本市ではこれまでに地区公民館、みずいろ公園、小学校・幼稚園を中心に遊具の更新を進めてきた。子どもたちが屋外で遊べる環境整備が進んでいる一方で、これらの施設まで遠い子どもたちは遊びに行くことが困難であり、まだまだ十分な環境とは言えない。直接肌に触れる遊具は、子どもをはじめ保護者の放射能への不安が依然として根強く残っている。地域住民や保護者からも、子どもたちが多く住んでいる地域の公園遊具の更新要望があり、市内3箇所の都市公園の遊具を更新することで、子どもたちの屋外での遊びの機会を確保し、安心して子育てを行う環境対策を講ずることで、市民の定住意識向上や避難者帰還の促進を図る。</p> <p>更新に当たっては、事業効果の高い施設を中心に選考し、今回、以下の施設の遊具を更新する。</p>						
・兼谷公園 複合遊具1(児童用及び幼児用の複合遊具並びに2連ブランコに分けて設置)、太鼓はしご(リングトンネル代替品)1基、シーソー1基、スプリング遊具(パンダ)1基、スプリング遊具(ゾウ)1基、スプリング遊具(ライオン)1基、砂場1箇所						
・明戸石公園 2連ブランコ1基、クライムステーション(チェーンネット代替品)1基、砂場1箇所						
・みずきが丘第2公園 2連ブランコ1基、複合滑り台1基、3連低鉄棒1基、シーソー1基、砂場1箇所						
■計画への位置づけ						
「本宮市震災・原子力災害復興計画(第3版)」P7~P9 ※一部抜粋						
<u>施策1-2 健康対策</u>						
【現状と課題】						
○東日本大震災による原発事故の長期化に伴い、放射線の健康への影響について市民の関心と不安が高まっており、その対応が必要となっています。特に妊婦や子どもを持つ親の不安解消を図る必要があります。						
○住環境、教育環境の変化や家族・友人関係の変化、さらには家族がばらばらに避難生活を強いられているケースもあり、子どものみならず大人も多くのストレスを受けているため、きめ細やかな心のケアが必要となっています。						
□具体的な取り組み						
(3)市民の心身ケア(ストレス対策)の推進						
・屋外遊びを控えている子どもたちの心身ケア対策として、子どもの運動機会を確保するため、屋内遊び場や除染を徹底した屋外遊び場の整備・改修、さらに他市町村との交流行事を進めるなど、子育て世帯が安心して活動できる環境の充実を図ります。						

人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係

○原子力発電所の事故以前と比較した人口の流出の状況及びそれにより生じている地域の復興における支障(制度要綱第5の1)

・本市の人口推移については、全国的に少子高齢化が進み人口減少に転じている地域が多い中であって、15才未満の人口割合が比較的安定した状態で推移していた。

・しかしながら、2011年3月に発生した、東京電力福島第一原子力発電所事故を境に、放射能の健康への影響を心配する子育て世帯を中心に、多くの市民が市外に避難する状態が続いている。

・原発事故発生前の平成23年3月1日と、平成25年3月1日の人口を比べてみると、65才以上の老年人口は202人増加しているものの、15才未満の年少人口が315人、15から64才の生産年齢人口が556人減少しており、全体では669人減少している状況である。

・特に、本市においては、社会的要因による人口減少が平成22年度でほぼ生じていなかったにもかかわらず、原発事故発生後の平成23年度では415人、平成24年度においても100人が社会的要因により減少しており、原発事故が大きな要因となっていることが推察される。

・さらに、全国避難者情報システムによると、平成27年8月時点の避難世帯数は28世帯、避難者数66人となっており、そのうち、概ね半数が15才未満の年少者となっている。【国勢調査(H22.10.1) 31,489人】

【子どもの運動機会の確保のための事業】

○事業実施の必要性(制度要綱第5の1)

・福島原子力発電所事故の影響により、市民が屋外での活動を敬遠している傾向がある。特に、子どもたちの外遊びについては、放射能に対する不安が完全に解消されていないこともあり、屋外での遊具を利用した遊びは敬遠される状況が続いている。

外遊びの不安解消を図るため、地域の子どもたちが身近に遊ぶことができる都市公園の遊具更新を行うことにより、子育て世帯が安心して親子で外遊びをする機会の増加と子どもたちの体力の向上を目指す。

・本市では第2回事業計画で地区公民館・分館の遊具更新、第3回事業計画でみずいろ公園の遊具更新、第4～6回事業計画で幼稚園・小学校等の遊具を更新し、子どもたちが日常的に利用しやすい場所を最優先で整備することで、屋外での運動機会の確保や運動不足解消を図ってきた。

しかし、それらの施設まで遠い子どもたちもおり、そうした子どもたちは十分に屋外での運動ができず、満遍なく整備できているとは言えない。地域の公園の中には震災以前のものがあり、放射能への不安は依然として残っている。また、地域住民からも遊具更新の要望が多数出されているところである。

今回の整備によりこれらの問題を解決し、子育て世帯が安心して親子で外遊びをする機会の増加と子どもたちの体力向上が期待できる。

○震災前に比較して子どもの運動機会の確保が十分に図られていないこと(制度要綱第5の4の二①)

・本市にとどまっている子どもたちについても、原発事故以降、運動・遊びにとって最も重要な時期である成長期に、安心して外で遊ぶことができなかったことにより、平成26年に実施した体力テストの各項目において、全国平均を下回る傾向となっている。例えば、50m走は全国平均に比べ、男女ともほとんどの学年において遅い結果となっている。また、運動不足等が原因とみられる肥満傾向児童割合については、一部改善が見られるものの震災前と比較すると依然として肥満割合は高くなっている。

・50m走平均：男女ともほとんどの学年において全国平均よりも遅い

・肥満傾向割合：震災前(平成22年度)と震災後(平成27年度)を比較するとほぼ全ての学年において肥満割合が増加している。

○地方公共団体における既存の運動施設が不足していること(制度要綱第5の4の二②)

・放射能による健康への影響の不安から、屋外での遊具を利用した遊びは敬遠され、遊具の使用頻度が低い状態となっており、子どもたちの屋外での運動機会が減少している。また、明戸石公園においては、除染によって生じた除染土の仮々置場として利用されていたことがあり、除染は完了したものの遊具は震災前のものであり、子どもをはじめ保護者からも敬遠されている。

○既存の施設を更新又は改築することによらなければ運動機会の確保を十分に図ることができないこと(制度要綱第5の4の二①)

・遊具は直接素肌に触れる部材が多いため、除染のみでは活用度合の回復が図られにくい。利用者層も周囲の意見に影響を受けやすい子どもであるため、利用敬遠者が少数存在するだけでも遊びづらい印象が周囲に拡大し、皆で遊ぶ環境が形成されにくい。このため、既存遊具の一斉更新により、物理的な不安を完全に除去、印象と運動意欲の向上を促す。

○施設等の整備の内容及び方法が事業の目的に照らして適切であり、効率的なものとなっていること(制度要綱第5の4の二①)

・本宮市が平成24年8月に行った市民アンケート調査(20才以上の市民2,000人:回答数842人、回答率42.1%)では、今後重要と考える取組みとして、「遊び場の整備」が「福祉施設の充実」に次いで、2番目に高くなっており、本事業を実施することにより、市民の安心度及び満足度を高め、定住を促進することができる。

・維持管理や運営については、既存の遊具施設の更新であるため新たな経費を伴うものではなく、現在の維持管理体制により管理を続けることができるため、最小限の経費で管理運営ができる。

※引用元:本宮市国土利用計画及び本宮市都市計画マスタープラン市民アンケート調査結果

(利用想定者数)3歳～12歳

兼谷公園…137人

明戸石公園…87人

みずきが丘第2公園…517人

○地方公共団体の広域の住民による活用が図られるよう計画されていること(制度要綱第5の4の二②)

・今回整備を計画するそれぞれの都市公園は住宅団地に隣接し、乳幼児から児童まで多くの子どもたちが住んでいる地区であり、多くの子どもたちが利用しやすい場所である。

・住宅団地と隣接しているため子どもたちが遊びやすいだけでなく、地域の大人たちからも目の届きやすい環境であるため、安全に遊ぶのに最も適した場所である。

・遊具更新について広報誌等により周知を図り、利用促進を図る。

○整備を予定している施設における運動の効果を一層向上させるためのソフト的な取組(制度要綱第5の4の二②)

・遊具をより多くの子どもたちに利用してもらうため、広報紙やインターネット等の広報媒体を通して、積極的な周知に努め、有効利用を促進させる。

○その他(効果の検証方法)

・各都市公園の遊具更新後における、子どもたちの運動能力の向上については、今後も継続して新体力テスト等の調査を実施し、震災前後の測定結果との比較により事業効果について検証を行う。

・また、肥満傾向児童割合が全国平均値以下となるように目標を設定し、肥満児の割合を検証する。

※効果促進事業である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

